

平成 21 年 3 月 27 日

～「収益力の回復と CSR 経営のスパイラルアップ」～

平成 21 年度 西鉄グループ事業計画

西鉄グループでは、このほど平成 21 年度の事業計画を策定いたしました。

平成 21 年度は第 11 次中期経営計画(平成 19 年度～平成 21 年度)の最終年度にあたり、グループビジョンである「成長に挑戦する西鉄グループ」構築の総仕上げとなる重要な年です。

昨年秋の米国金融不安に端を発する世界規模での景気後退が如実に現れ、生産の減少や物流の縮小など、世界経済は急速に悪化しています。西鉄グループにおいても、事業全般に亘り影響を受けており、当面は極めて厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況を踏まえ、西鉄グループでは、収益構造の弱い事業を中心に抜本的な構造改革を進めるなど、収益力の回復を最優先とした事業運営に取り組んでまいります。

また、グループの事業基盤である安全の確保や、環境負荷低減、内部統制をはじめとするリスクマネジメント等、これまで推進してきた CSR 経営のスパイラルアップを推し進め、さらなる経営品質の向上を目指してまいります。

詳細につきましては、以下の通りです。

記

◆ 平成 21 年度西鉄グループ事業計画の概要

1. 重点戦略

(1) 収益力回復に向けた取り組み

- ① 事業の構造改革、選択と集中の推進
 - ・事業の再編推進、不採算事業の縮小・撤退
 - ・組織体制の見直し推進
- ② 資産の圧縮(置換え)推進
- ③ 積極的な増収対策と業務経費削減の推進
- ④ 知識と行動力、起業力のある人材の育成、確保

(2) 安全、信頼向上への取り組み

- ① 安全マネジメントの推進
- ② 顧客満足(CS)向上の推進

(3) 地域や社会との共生

① CSR経営の推進

2. 事業別施策

(1) 運輸業

■鉄道事業

- ① 利便性、快適性向上による収入の確保
 - ・新駅(紫駅)の設置
 - ・パーク&ライドの推進
 - ・3000形車両の導入(12両) 他
- ② 安全の確保
 - ・高架工事(春日原連立事業、雑餉隈駅周辺高架工事)
 - ・橋脚強化
 - ・高架橋コンクリート剥落対策 他

■バス事業

- ① バス利用促進策の実施
 - ・ICカードの導入拡大、新サービス実施
 - ・行先番号統一化の拡大
 - ・バスナビ表示機の導入拡大
 - ・夜行高速バスへのハイグレード車両導入
 - ・路線の新設、拡充 他
- ② 運行効率化とコスト削減
 - ・燃料費の削減(ハイブリッド車両の導入、デジタルタコグラフの活用 他) 他
- ③ CSR経営の推進
 - ・安全マネジメントの推進
(ドライブレコーダーの導入拡大・有効活用、完全輸送運動の推進 他)
 - ・環境経営の強化(グリーン経営認証の取得拡大、環境教育の実施 他) 他

(2) 流通業

■ストア業

- ① スーパーマーケット事業の効率的経営体制への移行
 - ・西鉄ストアとスピナのスーパーマーケット部門の統合
- ② スーパーマーケット事業の価値向上

(3) 不動産業

■不動産分譲業

- ① 販売体制の強化
 - ・開発要員の販売部門へのシフト
 - ・竣工在庫販売促進による早期の資金回収 他
- ② 中古再販事業への参入

■不動産賃貸業

- ① 積極的な増収対策の推進
 - ・商業施設のリニューアル(ソラリアプラザ、ソラリアステージ 他)
 - ・新規収益物件の取得・開発 他
- ② 天神地区の街づくりのリード、機能更新の誘導
 - ・天神地区エリアマネジメントの推進 他

(4) レジャー・サービス業

■国際物流事業

- ① 増収策、利益率改善策の推進
 - ・同業国際物流業者との協働による物量の拡大
 - ・営業部門の体制・機能の再構築 他
- ② 海外ネットワークの拡大
 - ・中国の支店展開
 - ・欧州(チェコ)の支店展開
 - ・メキシコ駐在事務所開設 他
- ③ CSR経営の推進
 - ・特定保税承認者の取得(AEO制度) 他

■ 娯楽業

- ・『かしいかえん シルバニアガーデン』の認知向上 他

■ ホテル業

- ・西鉄イン新規店舗の開発(蒲田、名古屋錦 他) 他

(5) その他の事業

■ICカード事業

- ① ニモカの利用拡大に向けた取り組み推進
 - ・バス導入路線の拡大
 - ・貝塚線への導入
 - ・商業加盟店の拡大
 - ・駐車場やロッカー、タクシー等への導入推進 他
- ② 相互利用の推進(nimoca、SUGOCA、はやかけん、Suica)
- ③ ニモカの多機能化推進
 - ・異業種提携の推進(JMBnimoca 発行等)
 - ・認証機能の活用推進(会員証、ビル入退館等) 他

3. その他の施策

- ① 沿線居住推進、沿線中心市街地活性化の取り組み推進
 - ・久留米、柳川、大牟田など
- ② 公共交通利用促進に向けた取り組み推進
 - ・モビリティマネジメントの検討

4. 設備投資計画

(1) 平成 21 年度 西鉄グループ設備投資

		投資額	主な内容
西鉄本体	鉄 道	64 億円	車両新造 12 両、新駅の設置(紫駅) 他
	自 動 車	47 億円	車両新造 166 台 他
	国 際 物 流	3 億円	
	住 宅	7 億円	
	都 市 開 発	135 億円	西鉄イン新規店舗の開発 他
	そ の 他	16 億円	ICカード(相互利用 他)、システム関係投資 他
計		271 億円	
関係会社	計	47 億円	バス北九州車両新造、西鉄ストア店舗改装 他
合 計		319 億円	

(参考) 設備投資額の推移

年 度	H17 実績	H18 実績	H19 実績	H20 見込	H21 計画
西鉄本体	216 億円	168 億円	197 億円	311 億円	271 億円
関係会社	61 億円	50 億円	58 億円	88 億円	47 億円
合計	277 億円	218 億円	255 億円	399 億円	319 億円

(2) 投資計画の内訳(総投資額319億円)

(単位:億円)

